



音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp

2025年の活動を検討

日音協は、1月25日、第2回幹事会をズームミーティングで開催しました。

協議事項では、当面する取り組みの状況等の報告があり、具体的な点を検討しました。

■日音協セミナー2025

【創作講座】

・3月1日～2日

・会場は東京都・学園坂スタジオ

・参加締め切りは2月14日(今のところ6名の参加は集約しているので、開催予定です。)

・コンサートのゲストも呼びかける予定です。

・参加者拡大を各支部へ呼びかけるとともに、日音協ソング応募者にも要請することとしました。

(呼びかけチラシについては、4面に掲載しました。)

【ステージスタッフ講座】
・5月31日～6月1日
(発文はまだ出していませんが、詳細は担当者間で熟慮中です。)

■日音協 Next Stage (以前の『若い会員の交流会』)
・5月か6月開催予定(詳細検討中)

■第56回はたらくものの音楽祭
・中央幹事会の任務分担およびスタッフ体制について検討し、今後さらに、スポットライトの扱いや全国交流会と

宿泊等調整していくこととしました。

・長野県実行委員会結成に向けた状況の報告を受け、2/15の長野県支部ラィブ(事務局会議も)を経て、2/17長野県実行委が発足できるように、取り組みを強めていくこととしました。

■日音協の沖縄行動(5・15平和行進)
・5/16全国結団式、5/17平和行進(2コース)及び県民大会(Agre スタジアム北谷)・沖縄県支部と調整

＝ 活動報告及び活動予定日程 ＝

- 12/8 第1回日音協幹事会(東京都)
- 12/8 1女性会議街頭行動(新潟県)
- 12/12 秋田県支部総会
- 12/15 笑顔笑顔のクリスマスコンサート(那覇市)
- 12/21 茨城県支部合宿(茨城県日立市)
- 12/22 茨城県支部総会(茨城県日立市)
- 12/27 茱萸坂うた行動
- 1/7 高松市職労旗開きで演奏
- 1/10 自治労新潟旗開きで演奏
- 1/13 福島県支部総会
- 1/13 茨城県支部定期練習
- 1/24 軟弱地盤工事を許すな!砂ぐいヤメテクレ官邸前行動

- 1/24～25 FMカンパニー総会&新年会
- 1/25 第2回日音協幹事会(ズーム)
- 2/5 秋田県支部幹事会(3月に音楽夜話会予定)
- 2/5 青森県支部新年会
- 2/12 富山県支部総会(富山市)
- 2/17 第1回長野音楽祭県実行委員会(予定)
- 2/22 第3回日音協幹事会(ズーム)
- 2/23 東京都支部総会
- 3/1 連合茨城決起集会(演奏予定)
- 3/1～2 日音協セミナー・創作講座(東京都)
- 3/22 千葉県支部総会
- 4/5 反核燃の日全国集会(青森市)
- 5月 日音協 Next Stage(若い会員の交流会):未定
- 5/31～6/1 日音協セミナー・ステージスタッフ講座

- 平和フォーラム等々関係
- ・「2・24ウクライナに平和を!すべての原発に手を出すな」集会 2月24日(月・振)13時、日比谷公園大音楽堂(日音協・ステージ演奏)
- ・さようなら原発全国集会(3月8日)
- ・2005原発のない福島を!県民大会(3月15日・パルセイイざか)演奏は無し
- ・日本と朝鮮を結ぶ全国ネットワーク(日朝全国ネット)結成総会 2月8日(協賛広告に対応する)
- ・5・3憲法集会(内容は検討中)
- ・連合中央メーデー(4月26日開催、例年通りテント前での演奏を予定)

第56回はたらくものの音楽祭
2025年10月18日(土)～19日(日) 長野県千曲市・戸倉創造館

懐メロ労働歌に強い視線

1月7日にマリノパレスさぬきで開催された香川県平和労組会議・高松地区労合同の団結旗開きにおいて、香川県支部は開会前の25分間、シングアウト。井下・岡・細川のボーカル、高田（ベース）、三好・細川（ギター）の伴奏、5人で演奏しました。

最近、歌詞が気になってきた「ラブ地球」、岡光子のソロで始め、事前練習の成果か混声4部で演奏することが出来ました。「どんなに時が流れても」は2部合唱（最後は3部）、「武器を捨て

て」は昨年と同じく「武器を捨てて、手をつなごう（繰り返し）」「平和が一番だ（繰り返し）」を7回ずつ繰り返し、そこにハーモニーを上乗せしました。旗開きなので会場内は歌声より新年の挨拶のほうが強い時もありましたが、歌い続けた労働歌の力か、「インターナショナル」や「がんばろう」ではプログラムの歌詞に集中する姿も見られました。閉会前には参加者全員で「インターナショナル」を合唱しました。

（細川 剛）



高田 三好 細川 岡 井下



ラブ地球

詩: 中村富士雄 曲: 常包早智恵/山根 博

♩ = 116

C CM7 C CM7

5 C CM7 Am Am7

あ お い そ ら と え み ど り の だ い ち

虫 の 鳴 く こ え 花 咲 く 小 み ち

9 F C Dm G7

う み な り と お ー ー き し お の に お い

お が わ の せ せ ら ー ー ー 小 さ の に お い

13 C CM7 Am Am7

あ し た へ い き る こ ど も た ち へ

そ れ が わ た し の あ な た の お が い

17 F C Dm G7 E7

き れ い な ま ま で わ た し た い

か け が え の い お く り も の

21 Am Em Bb A Dm

ひ と り ひ と り が 気 を く ば れ ば

い ま よ り す こ し こ れ い じ ゃ う

35 F F G G7

地 球 を き ず つ け し あ わ せ こ わ す こ と に

け が す こ と は こ と に

39 C Bb C G7 C Em

気 ず く だ ろ う き れ い な 地 球 に

43 C G7 C Em Dm G7

住 み た い な き れ い な 地 球 を ま も り た い な

47 Dm G7 C Em Dm G7

住 み た い な ち き ゃ う を ま も り た い な

51 C G7 C Em Dm G7

き れ い な 地 球 を お く り た い な き れ い

55 C Em Dm G7 C C CM7 C CM7

な 地 球 を お く り た い な

ち き ゃ う を お く り た い な

福島原発事故はおわっていないぞ^た

3・11を歌う！プレライブ

3月9日(日) 開場 13時半
開演 14時
開演 17時

チケット 1,500円(飲み物1杯付き)
ライブ会場 カフェカモン
郡山市遠瀬町多田野新地下4-8
(駐車場有)

出演者
◇ 日音協福島県支部
◇ ふれんず
◇ 関ジョニーと愉快な仲間たち
◇ VJkin
◇ おも
◇ 宗田や綿本家
◇ 他

No Nukes Fukushima

3・11を歌う！
3月11日(月)

開場 17時 / 開演 17時半
会場 Kouriyama#9 (シャープナイン)
郡山市大町1丁目4-15(郡山駅徒歩5分)
TEL: 024-973-5242 (チケット予約できます)
入場料 2,000円+ドリンク代 600円

おも
独特の世界観を奏でるギター弾き語り、今やテレビCMで流れるほど。時にはバンド構成でのステージもあり、活躍が期待されている、福島県内在住アーティスト。

いなのとひらのとこば
VJkin
福島県会津を拠点に活動。ポップでキャッチーなメロディでメッセージ性の強い曲を歌います。代表曲「セシウム風に吹かれて」

●カンパでの協力もよろしくお願いします。
振り込み先 / 東北労働金庫 郡山支部 / 口座番号 6636187 / 口座名義 3・11福島ライブ企画
主催 3・11原発事故は終わらないライブ実行委員会
協賛 3・11原発いらない福島実行委員会
問合せ先: 090-7945-6400 (坂口)

HP: <https://z59sfprjp.wixsite.com/311nonukes-fukushima>

福島県支部が総会

1月13日(月)、日音協福島県支部は総会を開催しました。10名の会員のうち4名が所用で不参加(委任状あり)との連絡が当日前夜に入り、また県内でも猛威を振るっている風邪やインフルによる体調不良で2名が急遽欠席となり、最少人数での開催でした。(坂口全国副会長同席)

昨年一年間の取り組みを振り返った後、主たる議題の附近に迫った2025年3月の「福島原発事故はおわっていないぞライブ」の取り組みや運営方法等を中心に議論されました。概要として次のことを決定しました。

・3月9日(日) 14時
交流のある県内の音楽家たちを中心にライブ(喫茶「カモン」郡山市逢瀬町、音響設備あり)日音協福島でも何度か練習場所として利用

・3月11日(火) 17時45分
過去2回と同様にライブ(「ライブハウス#9」郡山市)

メインは、いなのとひらのとこば・VJkin・おも

*早急に3/9の出演メンバー確定しポスター・チケット作成に取り掛かる。

なお、役員体制は前年に引き続き会長(二階堂政則)、副会長(大友孝雄)、事務局長(菅井浩)、事務局次長(南條善徳)、となりました。(南條善徳)

No No War

詩・曲=桑野 功
編曲=沼前光典

ウクライナに ガザーに - じゅうを -

いちにちじゅうなりひびく ばくだんとじゅうせいのおと

やすめるところも にげるところも かくれるところも どこにもない

いますぐーやめて いますぐーとめて - No No

War - No No War -

かなしみの なみだが - どれほど ながれたことだろう

それでもまだ - むさべつこうげきが つづく -

いますぐーやめて いますぐーとめて - No No

War - No No War War War War

ウクライナに ガザーに - へい わを - oh

2024日音協ソング推薦曲 (1/3)

2025日音協セミナー 創作講座

「新しい作品を作りたい」「新しい歌を歌いたい」と日音協の会員の皆さんであれば誰も思っていることでしょう。

でもそこに絶えず「誰にむかって何を伝えるか」「何処でどんなふうに演奏して歌うのか」「もっと広げるためにどんな方法があるのか」など、立ち向かう音楽現場の状況にどのようにマッチングさせるのかという葛藤が付き纏っています。

楽譜に書かれている作品を音楽現場で演奏に昇華して、その想いを伝える活動は演者に対して「創造性を強く求める」もので、作品作り、演奏や歌、音響など音作り、ステージ運営、音楽運動の情報や楽譜・演奏の配信、それぞれの「創る」が音楽運動を支えています。

ということで、今年の「創作講座」は、たくさんあるセクションの中から、作品づくりの最初の一滴から染み出す作詩をテーマに取り組みます。

労働や暮らしの中からエピソードを切り取り、そのエピソードに思いを詰め込んで言葉を紡ぎ詩に仕上げることについて市野宗彦講師の講義を基にして、持ち寄った詩の交流や創作のネットワークづくりなどについて話し合います。

たくさんの方の参加をお待ちしています。

市野宗彦さんについて

1944(昭和19)年生まれ 音楽ジャーナリストで編集者。作曲を手がけ、音楽グループ「多摩じまん」の一員として演奏活動。

市野さんが作られる「構成劇」は 社会のさまざまな問題を、説得力のある詩で出来た美しい歌と、緻密な調査によるデータの裏付けによって、かつ鋭いユーモアを織り込んで作られた台本の「せりふ」との組み合わせによって批判するもので、他に類を見ないと思います。

1982年に行われた私の解雇1周年記念集会に同メンバーの曾村征子さん(作曲家で歌手)が中心になって沖電気の事件を扱った構成劇が作られました。その中の1曲として「一枚のピラ」が市野さんによって作られました。

市野宗彦作品集 一枚のびら 抜粋

ワークショップについて

日音協は音楽運動を以て労働運動に貢献することを目的に1965年11月4日に結成され、数多くの労働運動の現場で音楽を闘いのツールとしてそれぞれの職場で闘いの士気を高め団結を固めるための活動をしてきました。

あれから数十年経って職場や地域で音楽を必要とする活動がぐんぐんと減少していく中で、新しく音楽運動に参加する人たちも数少なくなりましたが、音楽にメッセージを載せて発信する音楽運動の意義と役割は、その任務を失ってはいません。

私たちが創り出す作品や演奏活動・音楽コンテンツが多くの皆さんから共感を得て、誰かを勇気づけたり励ましになったりことで繋がりを作り出す活動を追及するためには、職場や暮らし、世の中の出来事からエピソードを切り取り私たちがからのメッセージをのせた作品をつくり出していかなければなりません。

今回のセミナー<創作講座>は、参加者が持ち寄った詩や散文の背景や感じたことを検討し合いながら、歌詞作りについて学び合う場とします。

参加申込

2025日音セミナー創作講座の開催案内文書に添付した参加申込書に必要事項を記載の上、2月14日までに申し込みをお願いします。

申込先 Email: nichion@yomogi.or.jp

Fax: 03-6369-3057

郵送: 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町
3丁目10-15富士ビル505号室
日本音楽協議会宛て

開催会場 学園坂スタジオ 3F
東京都小平市学園東町1丁目7-41
https://www.gakuenzaka.com
開催日時 2025年3月1日
13:00~3月2日12:00

2025日音協セミナー創作講座 Time Schedule

3月1日		
13:00~	30分	受付
13:30~	20分	セミナー・ミーティング
14:00~	120分	創作講座 講師 市野宗彦さん 演奏 佐伯義人さん
16:00~	30分	ワークショップ打合せ
16:30~	20分	コンサート準備
17:00~	30分	ゲストコンサート(ゲスト未定)
17:40~	20分	交流会準備
18:00~	90分	交流会&参加者コンサート
20:30~		宿泊先へ移動
3月2日		
~08:30		会場集合
08:45~	70分	ワークショップ1
10:00~	70分	ワークショップ2
11:20~	30分	成果発表&感想交流
12:00~		解散/片付け・撤収

Access

東京駅から中央線快速39分(特別快速なら33分)で国分寺駅乗り換え
国分寺駅から西武多摩湖線3分で一橋学園駅下車、北口から徒歩1分

Work Shop

参加者は自作詩を持ち寄り、一人ひとり朗読または演奏して、詩をどう受け止めるか、イメージするか話し合い、交流し高め合うワークショップとします。曲づくりは予定していません。

Mini Concert

エントリーは参加受付の際に、出演者及び出演団体名と演奏曲名を申し出てください。演奏時間は15分程度です。

参加費 & 交通費

参加費 19,000円(1泊2日、夕食飲み物代費含み、朝食を含まない) 夕食あり11,000円、夕食なし7,000円
宿泊なし(通い) 参加費 夕食あり11,000円、夕食なし7,000円

交通費の一部負担 日音協会員のうち各支部一人につき、往復交通費のうち13,000円を越える分を日音協が負担します。ただし、航空機利用の場合は、21日前予約料金で計算させていただきます。

なお、一部負担は支部のための負担とするので、5月31日、6月1日に予定する日音協セミナー及び2025ステージスタッフ講座とあわせて各支部一人分とします。

2/14が締切りです。みなさんの申し込みをお待ちしております。



今年の札幌は、暖かく雪がほとんど積もっていない。こんなに少ないのは42年ぶりだとか。札幌雪まつりは大丈夫なのだろうか。そんな心配はよそにFMカンパニイは1月24日、25日に江別市のペンション優で総会と新年会を兼ねて開催した。

FMカンパニイが定期総会 、長野に向けてなんもかんも全力、

「メーデー」と「8・6ダイイン集会」での演奏を実現させること。10月の長野祭典では創作曲を持ち寄り取り組むこと。さらに戦後80年の節目とする「FMカンパニイ平和コンサート」を目指すことを全員で確認した。

昔ではFMカンパニイは沖縄を最後に祭典を卒業かの噂もあったが、長野の「ローカル線」の熱意に絆され最大限の取組みをすることになった。

さて、16時からいよいよ「新年会」スタート。特製「キムチ鍋」を食べてお酒で体が温まった処で、各自新年の正月に創った「新曲の歌い初め」の披露である。全7曲が発表されたが、新年にしてまずまずの出だし。今後6月の合宿までに手直しするか新たな曲を出すか各自で創作を進めて来ることにした。

さらに新年会は、23時を過ぎてもステージ演奏が延々と繰り広げられていたが「締めめのさるソバ」を食べたところで三々五々解散と

2025年度定期総会議案集



2024.9.19 沖縄県恩納村 VILLA TORA

2025年1月24日(金) 15:30 ペンション優

Free Music Company

(日本音楽協会の北海道支部)

2025年度役員体制

会長	佐藤 和弘
副会長	的場 芳男
副会長	榊原 隆子
事務局長	磯野 宏之
事務局次長	桑野 功
事務局次長	吉田 雅人
理事	佐藤 満
理事	沼前 光典
理事	石川加鶴子
理事	渡辺 裕美
特別顧問	小林千代美
会計監査	村雲 孝
会計監査	柳田 基貴

熊が出るぞ



で、ここから、例年であれば「なんもかんもバンド」が出現して再び大騒ぎになるのだが、それは長野祭典まで取っておくこととして、皆静かに就寝となったのである。

(磯野宏之)



手作り作務衣の
T-ムラじゃん



佐藤満さんが弾くと
ギターが泣く



佐藤会長も熱演



サザン命の沼前さん

水道橋だより

▼訂正とお詫び。先月号(672号)の「どん行」。お気づきの読者の方、どれくらいいらっしゃいましたか?実は11月号(670号)と同じ原稿を掲載していました。申し訳ありません。(佐藤)

▼5面にFMカンパニーの報告を掲載しました。北海道の皆さんは長野音楽祭で貸し切り状態の温泉ホテルで全国の仲間と交流できることを楽しみにしているやに聞いています。「なんもかんもバンド」が出没した際には温かく迎えましょう。次の日の演奏に影響がないほど。(佐藤)

▼いま朝日新聞で泉谷しげるさん(77)が語っている▼何万人も入るロックフェスティバルもやってきたけど、あれだと、お客はスクリーンを見てるだけ。100人、200人のライブなら、目の前で大暴れできる。…いつも全力なので、ジューパンは汗でビショビショ。…声もがらがらになるけど知ったこっちゃねえ。…とのこと。▼ヨシ、俺も「春夏秋冬」に挑戦してみようかな。(佐藤)

歌の力が物語るもの138

芥菜坂うた行動 1/10 (531回) 報告 R i c o

【参加者】スーさん、守屋さん、イサさん、鈴木さん、周平さん、ゆきさん、望月さん、達哉、森 計9人

2025年最初の芥菜坂うた行動。周平さんが大きなコントラバスをむき身のまま力トに乗せて運んできた。中古の楽器でネックが折れていたのをボンドで補修したのだと!コントラバスの低音が響き、反原発うたいたいさらさら充実の音色。鈴木さんが運んできてくれているマイクをみんなに回しながら、今年も芥菜坂は始まった。

は「あなたに届け」と。「当てなく逃れぬ 雪の夜道を」という歌詞と寒い空気が、何度も映像で見たあの日を思い起こさせる。長い列を成して避難していく車。生活を一変させてしまったことを、国と東電はどのくらい理解しているのか。新しいエネルギー基本計画には再稼働のみならず新炉建設まで謳われている。ろくな補償もしていないくせに



「他電源と遜色ないコスト」と言いきる。今日を食うために『明日を殺すな』。そして『水に流すな』。今日の芥菜坂は通る人が多い。今の生活を守るためには自分だけ頑張ればいってもしゃないよ、ある日突然すべてがひっくり返されることもあるんだよと言いたい。『そんな世界が一番』『D o! 廃炉』と続ける。『D o! 廃炉』私は約1か月ぶりで歌ったので歌詞がとんでしまっただ。ちゃんと反芻(はんすう)しておこう。覚えることも、身に染みこむことも、時間がかかるようになった。こんなところでも『事故から14年』を感じてしまう。

には設計変更の県不承認に對して「国の代執行」を強行した。この日程のチョイスがなんと姑息で腹立たしい。『ふるさと沖縄』沖縄に基地はN O! N O! N O!。そして「モチーが好きだから」と鈴木さんが望月さんにマイクを渡して「ジュンがすむ海」を歌う。守屋さんが『童神』を歌った。この曲も前に望月さんの希望で楽譜を探したっけ。歌詞カードも作ってあったがウチナーグチのものしかない。今度ヤマトグチのも作ってこよう。達哉がマイクを持って『月桃』も歌った。最後に『声よ集まれ 歌となれ』。

今年も歌い続けよう。「君と一緒にたたかえる」と言える仲間たちとの、この場があるがたい。



どん行

(187)

飯島貞親

行動力に学んでいくことが必要なのに、彼らを見れば日本人が多いのはなぜなのだろう。

▼昨年末に韓国で戒厳令が宣布されたのにはビックリした。それが野党や国民の抵抗によってわずか6時間で撤回された。駆けつけた市民と政治家の素早い行動が撤回へと導いた。その際、国会に集まった人々を支援した市民の存在は、日本では報道されたことがない。この騒動は、韓国映画「タクシードライバー」を思い出させる。独裁政権下での政権批判は弾圧の対象となる命がけの作品だ。▼かつて、日本も戒厳令が発動された二・二六事件が起きている。首相官邸・陸軍省・参謀本部などを占拠し、国家改造を要求するというクーデターだ。これをきっかけに戦争へと日本は突入していった。

▼「あんな苦い歴史が繰り返されることはあるまい」と多くの日本国民は高をくくっている。維新の馬場代表は「韓国で起きることは日本でも起きる」と改憲で緊急事態条項を整備すべきだ」と発言している。緊急事態条項は権力者によって戒厳令強行が可能になることなのに、改憲派はこの程度しか憲法のことを知らない。▼韓国の戒厳令は他人事ではない。現在の日本人は同様の事態に遭遇したときに行動できるだろうか。韓国民の行動力に学んでいくことが必要なのに、彼らを見れば日本人が多いのはなぜなのだろう。